

山形大学の 新型コロナウイルス感染対策

～授業実施における感染防止の取り組み～



山形大学 学士課程基盤教育機構 千代 勝実

【本件のポイント】

- 感染対策を徹底し学生の多様な学びの機会を確保
- マスク・手指消毒・三密の回避など一般的な感染対策のほか、独自開発の二次元コードによる着座情報収集システムなど、ICTを活用した先進的な対策を実施
- 十分な感染対策のもとで対面授業のほかアクティブラーニングや実習・実験、フィールドワーク、インターンシップを実施

【背景】

- 十分な感染対策のもと、最も教育効果の高い授業形態による教育の実施や、個々の学生の事情に配慮した多様な学びの機会の提供への社会的要請
- 一般的な感染対策であるマスク着用、手指消毒、三密の回避、行動記録の他、さらなる感染対策のもとで対面授業のほかアクティブラーニングや実習・実験、フィールドワーク、インターンシップを実施

【独自の感染対策】

- 教室定員の約半分での授業実施
 - 学生間隔を約1.5mとして着席
- 講義室換気と二酸化炭素濃度計の活用
 - 対角窓開放と二酸化炭素濃度計によるモニター
- 独自開発の二次元コードによる着席記録
 - 各座席の二次元コードを学生が撮影し
大学で記録



- 学生の事情に配慮したオンライン授業
 - 健康上の理由で通学困難な学生にオンライン授業提供
- 実習でのPCR検査の実施
 - 学外での実習では参加前PCR検査
- 課外活動状況の把握
 - サークル活動等は事前に活動計画書提出・許可制
- 一元的な健康管理と迅速な意思決定
 - 学生・教職員の健康状態の把握と迅速な意思決定

【まとめ】

学生やご家族、地域の状況に配慮しながら、
十分な感染対策のもと、効果的な教育を提供

山形大学の教育の強みである
地域での実習・フィールドワーク・インターンシップなど
学生が主体的に取り組む課題解決型授業を実施

地域の感染状況に応じて対面・オンラインといった
授業形態を柔軟に変更

お問い合わせ

学術研究院 教授 千代 勝実 (基盤共通教育担当)

TEL 023-628-4973 メール senyo@kdw.kj.yamagata-u.ac.jp